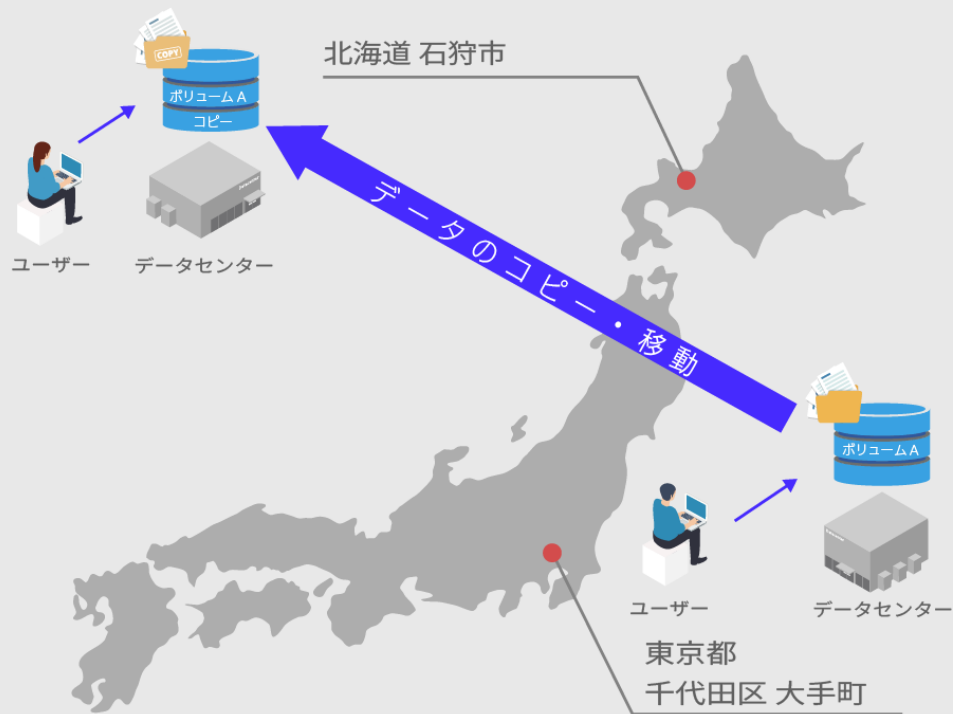


【拡大イメージ図】

Before



東京

北海道

データのコピー・移動

東京

ボリューム A + ボリューム B

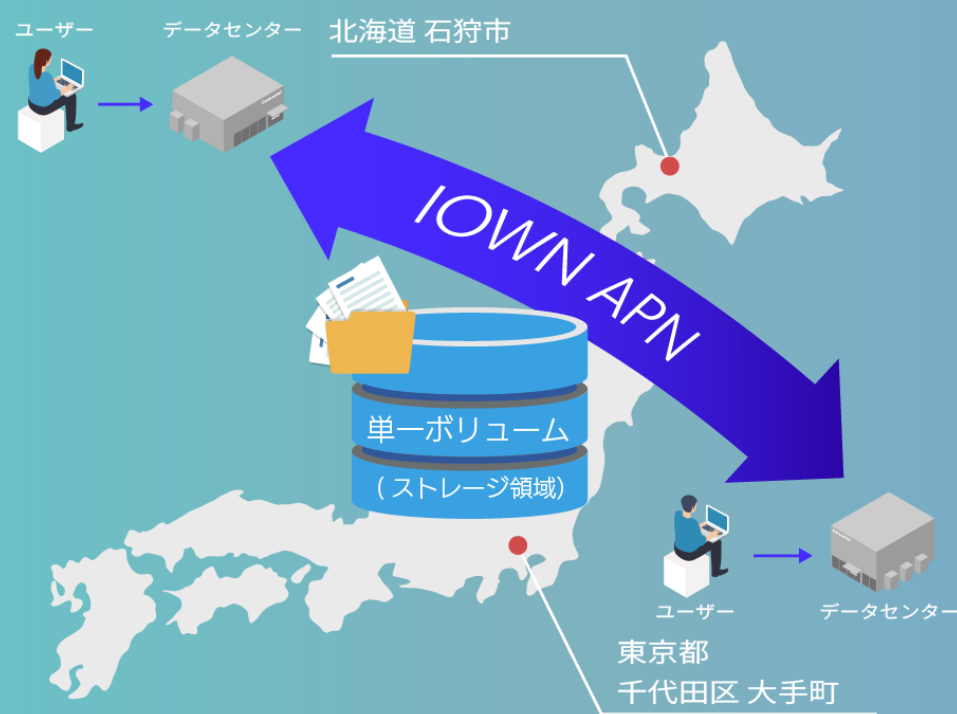
北海道

ボリューム A コピー + ボリューム B コピー

- 各拠点のローカルストレージで個別編集、拠点間での同時編集は不可
- 拠点間はデータの移動が都度発生し、データ利用の効率が低下

- 拠点ごとにストレージシステムが必要となり、管理負荷も増大
- セキュリティ対策などは各拠点のシステムごとに必要となり、複雑

After



北海道

東京

単一ボリューム (ストレージ領域)

100TB

500TB

1PB

単一ボリューム (ストレージ領域)

- 拠点間での素材データの同時編集が可能
- 最寄りストレージに接続するだけで、全データを閲覧 / 編集が可能
- 拠点間でデータの移動が不要となり、ワークフローが簡素化

- 管理対象のストレージはひとつのみ
- セキュリティ対策などはひとつのストレージシステムに適用するだけ